

2学期を振り返って

『吉里吉里学園まなびフェスト』の2学期達成状況について、生徒・保護者・教職員が評価活動を行ないました。評価項目は、『確かな学力』『豊かな人間性』『健康な心と身体』『未来に生きる郷土愛』の4つです。2学期の成果と課題をしっかりと受け止め、3学期の教育活動及び令和2年度の教育計画に反映させていきたいと考えます。

確かな学力



項目	取り組みの成果 ○	3学期の改善点 ●
わかる授業の充実 大槌町授業スタイルの実践に取り組んだ 『授業がわかる』生徒の割合を80%に引き上げる	○大槌町授業スタイル（課題一学び合い一まとめ・振り返り）の実践に取り組んだ。（「取り組んだ」「まあまあ取り組んだ」70%） ○各学年の実態に応じ、生徒が思考・判断・表現できる授業づくりに努めた。	●『まとめ・振り返り』の時間の確保するための授業計画の改善を図る。 ○『授業がわかる』と回答をした生徒は、7学年が66.7%（77.8%）、8学年71.4%（50.0%）、9学年30.8%（21.4%）であった。『まあまあわかる』を含めると100%近くにはなるのですが……。
全国学調等の調査で県平均以上を目指す	○岩手県学習状況調査の結果から（8年生） ○県正答率と比較すると、国語マイナス16.3、数学マイナス8.6、社会マイナス12.2、理科マイナス11.2であり、残念ながら目標を達成することはできなかった。 全国学力・学習状況調査の結果から（9年生） ○県正答率と比較して、国語マイナス20.0、数学マイナス21.0、英語マイナス10.0、全国正答率と比較して、国語マイナス18.8、数学マイナス24.8、英語マイナス14.0であった。	●個々の生徒の実状を踏まえて、きめ細かな指導の充実を図る。
家庭学習の充実 帰りの短活で家庭学習計画を立てる	○『よくできた』と回答した生徒は、7年生77.8%（77.8%）、8年生50.0%（42.9%）、9年生38.5%（35.7%）であり、1学期に比べてやや上昇はしているが、まだまだ全体としては低い状態である。	●短活での指導の徹底を図るとともに、個に応じた支援を行なう。
進んで宿題と自主学習に取り組む生徒を育てる	○7年生は、宿題で『よくできた』と回答した生徒は、0%（11.1%）自主学習で『よくできた』と回答した生徒は66.7%（44.4%）であった。 ○8年生は、宿題で『よくできた』と回答した生徒は、21.4%（21.4%）自主学習で『よくできた』と回答した生徒は35.7%（50.0%）であった。 ○9年生は、宿題で『よくできた』と回答した生徒は、30.8%（35.7%）自主学習で『よくできた』と回答した生徒は16.7%（28.6%）であった。 ○家庭学習計画づくりを実践している生徒は、宿題及び自主学習をしっかりと行なっている傾向にある。家庭学習の取り組みに差が表れている結果となった。	●授業と家庭学習の連動を目指した授業の充実を図るとともに、習熟度に合わせた宿題や自主学習の支援の工夫をさらにきめ細やかに行う。
学習規律の定着 学習のきまりを守り、授業に主体的に参加できる生徒を育てる	○『よくできた』と回答した生徒は、7年生66.7%（55.6%）8年生57.1%（35.7%）9年生46.2%（14.3%）であった。 ○学習のきまりは、各学年その日の目標にも取り上げられ自分たちで意識して取り組んでいる。	●各学年の自治活動を充実させるためにも、更なる指導の徹底を図る。

（ ）内の数値は1学期の評価である

<p>学習意欲を高める 各種検定への挑戦 英検 9年生で3級40% 漢検 9年生で3級40%</p>	<p>○2学期末時点で、9年生の英検3級取得率14.3%、漢検3級取得率14.3%である。 ○どの学年の生徒も、各検定に意欲的には取り組んでいた。 ●3学期に英検、漢検とも第3回が実施されるので、目標値である40%を目指したい。 ●数検も3学期に実施されるので挑戦させたい。</p>
--	---

豊かな人間性



項目	取り組みの成果 ○ 3学期の改善点 ●
<p>自己肯定感を高める 『自分によいところがある』生徒を80%以上に引き上げる</p>	<p>○『ある』という回答は、7年生55.6% (44.4%) 8年生35.7% (21.4%) 9年生30.8% (7.1%) であった。『まあまあある』との回答を含めると、7年生88.9% (88.9%) 8年生71.4% (64.3%) 9年生61.6% (50.0%) である。 ○『ない』という回答が、7年生で0.0% (0.0%)、8年生14.3% (0.0%)、9年生15.4% (21.4%) であった。 ○どの学年も『ある』と回答した生徒が増加傾向であったのは大きな成果である。しかし、『ない』と回答した割合もまだ少なからずあったのは今後の取り組みの課題である。 ●生徒一人一人が自信を持って生活ができることを目的とした「いいところみつげ」の記入を定期的に行ない自己肯定感が高まる働きかけを継続して行う。 ●各学級で、仲間を認め合う取り組みの充実を図る。 ●日常の観察とさらにきめ細やかな相談活動の充実を図る。</p>
<p>主体的な自治活動 目標に向かって主体的な自治活動が出来ている生徒を80%以上に引き上げる</p>	<p>○『できた』という回答は、7年生88.9% (77.8%) 8年生42.9% (42.9%) 9年生30.8% (14.3%) であった。『まあまあできた』との回答を含めると、どの学年も80%以上であった。 ○7年生は、自分たちなりの自治活動を目指しその実現に向け取り組んだ成果が表れた学期であった。 ○9年生は結果が低く出ているが、1学期に比べまとまりのある取り組みが多く見られ、自分自身に対する厳しさが評価に表れていると思われる。 ●生徒会リーダーが8、7年生に引き継がれ、日常の新たな取り組みが2学期後半から行われている。この活動を通して自治的、組織的な取り組みを更に発展させる。</p>
<p>感謝と思いやり 道徳で学んだ価値(感謝・思いやり)を日常生活に活かしている生徒を80%以上に引き上げる</p>	<p>○『活かしている』という回答は、7年生55.6% (66.7%) 8年生42.9% (57.1%) 9年生15.4% (7.1%) であった。『まあまあできた』との回答を含めると、7年生100% (100%) 8年生85.8% (85.8%) 9年生100% (64.2%) であった。 ●道徳の授業で学んだ価値項目を、生徒一人一人の日常生活や行事の取り組みを通して評価していく活動の充実を図る。</p>
<p>キャリア教育の充実 『将来の夢や就きたい仕事などについて考えることができた』を80%に引き上げる</p>	<p>○『できた』『まあまあできた』との回答を含めると、7年生77.8% (88.9%) 8年生85.7% (92.8%) 9年生100% (64.3%) であった。 ○9月のキャリアウイークを中心に進路について考えを深める取り組みの充実が図れた結果であると考えられる。学年が進むにつれて、将来の夢や職業について深く考えている結果であり、8年生は結果が低く出ているが、1学期に比べ、自分自身に対する厳しさも見えてきていると思われる。 ●日常の学習や生活を通して、社会人として必要な態度(表現力、コミュニケーション、あいさつ、時間厳守等)を育てる取り組みの充実を図る。</p>